

# 2025 彦根・北びわ湖納涼花火大会

【日時】 8月31日(日) 19:30～19:50 (予定)

【場所】 彦根港

彦根・北びわ湖周辺地域への観光客誘致・まちの活性化を目的として、納涼花火大会を開催します。  
 問 北びわ湖大花火実行委員会 事務局 ((公社)彦根観光協会)  
 ☎ 23-0001 FAX 26-1919

## 道路規制情報

当日は駐車場がありません。電車やバスでの来場をお願いします。JR彦根駅より会場付近まで臨時路線バス(有料)が運行しますので、ご利用ください。詳しくは(公社)彦根観光協会のホームページ(QRコード)をご確認ください。  
 ※彦根総合スポーツ公園の駐車場は利用できません。



## 彦根城花火観覧イベント開催

同時に彦根城にて花火観覧イベントを開催します。八木真澄さん(サバンナ)を招き、花火を盛り上げます。詳しくは彦根城公式ホームページ(QRコード)にてお知らせします。



🕒 8月31日(日) 18:15～20:15  
 💰 大人 2,500円 小・中学生 1,000円

問 観光交流課  
 ☎ 30-6120 FAX 24-9676



▲八木 真澄さん (サバンナ)

## わたSHIGA輝く国スポ・障スポ

### 夢を照らす炎、彦根に灯る ～炬火イベント～

国スポ・障スポの開催100日前を記念し、6月29日に炬火イベントを開催しました。炬火とはオリンピックの聖火に当たるもので、県内各市町で起こした火が国スポの総合開会式、障スポの開会式で灯され、大会期間中、選手たちの活躍を見守るシンボルとなります。

彦根市炬火イベントには約300人が参加し、火おこし体験や集火式を行い、「彦根市の火」を誕生させました。

問 国スポ・障スポ総務課  
 ☎ 30-6141 FAX 23-2660



▲火おこしを体験する参加者

◀炬火を灯すために使うトーチ。制作には彦根仏壇事業協同組合が参加されました。側面の線は穏やかな琵琶湖の波を表現しており、季節によって変わる琵琶湖の色を濃淡の青で表しています。



◀彦根市の火を灯した炬火受皿。鳥居本養護学校の児童が制作したピースが飾られています。



## 国スポ・障スポを支える人



滋賀県なぎなた連盟 理事 北村 由美子 さん

翔西館高校なぎなた部の外部指導員。現役時代に国体出場を経験。その後は、選手兼指導者として早くから育成に携わる。わたSHIGA輝く国スポでは、なぎなた競技の強化委員長。

44年前の1981年に開催されたびわこ国体では正式競技ではなかったため、滋賀県では初めて国スポ(国体)競技として実施されるなぎなた。滋賀県なぎなた連盟の理事として競技を支える北村さんに、大会への思いを伺いました。

### 感じてほしい、なぎなたの魅力

「なぎなたは大人になってから始める人も多く、年齢を問わず挑戦できる競技です。型の美しさを追求し、精神力を

高める時間は特別。なぎなたならではの一体感があります。」と話します。

20～30代の女性選手が多く、子育てと両立する人が多いことも特徴です。試合会場では子どもたちが元気に走り回る姿も珍しくありません。「両立は大変ですが、関係者がお互いに理解し、支えています。」

### ぜひ、会場へ

いよいよ国スポ開催が目前に迫る中「来る人も迎える人も、やってよかったと思える大会にしたい。約80人のスタッフが心一つにして準備しています。」と意気込みを語ります。「なぎなたの良さは、実際に見てこそ伝わるもの。静寂の緊迫感の中で際立つ演技と試合の感動を味わえます。会場でぜひ、なぎなたの魅力を感じてください。」

※なぎなたは9月29日(日)から10月1日(火)まで、パナソニック(株)くらしアプライアンス社彦根工場多目的ホール(岡町)にて開催されます。

